



東九州伊勢えび海道

9/4 延岡・佐伯観光協会 知事にアピール 日南も一緒に

延岡市と天分県佐伯市で取り組む「東九州伊勢えび海道」PRするキャラバン隊（3日、知事室）

えび海道（9月2日〜11月30日）のキャラバン隊が3日、河野知事を訪問し、旬を迎えたイセエビのおいしさや祭りの内容をPRした。

宮崎県のイセエビ漁解

禁に合わせ、延岡観光協会と佐伯市観光協会が合同開催。日豊海岸の雄大な景観や新鮮な海の幸、伝統文化などと一体的に発信し、交流人口の増加を図っている。

一行は日南海岸伊勢えびまつりのキャラバン隊と一緒に訪問。その日の朝に延岡で水揚げしたばかりのイセエビを知事に贈り、旬の味覚を試食してもらった。

東九州自動車道の開通効果で近年は1万5千食を供給しており、15周年目の今年は2万食を目標に開催。高平新之助実行委員長（潮香ノ宿高平屋）は「九州の人には知れ渡ってきたので、日南とも協力し合って『宮崎といえはイセエビ』と全国から来ていただけるように頑張りたいと話した。期間中は延岡市7、佐伯市21店舗が参加。みそ汁と刺し身を基本に各店独自のメニューでもてなす。食事をすると観光施設などで特典がある「海道札」がもらえ、アンケートに回答すると抽選で28人にイセエビ1キロをプレゼント。また、42人に特産品が当たるスタンプラリーや、フォトコンテストも実施している。